【本　校　の　教　育　目　標】

ふるさとを愛し、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成
～やる気・気づき・根気・絆をはぐくむ安久ならではの教育～

「 変革・挑戦 」安久小学校便り

令和2年
1月24日発行

二胡の響きに心拓いて！

1月14日（火）の3校時に全校児童で、中国の古典楽器（二胡・京胡）の生演奏を聴くことができました。前回の学校便りでお知らせしましたように、中国と東京から元国家1級演奏員で、月野教諭の伯父様であるお二人に来校していただき、素晴らしい生演奏を聴かせていただきました。中国の古典楽器の生演奏は、なかなか聴ける機会がありません。また、鑑賞教室の中では、学年代表の児童6名に二胡を触れさせていただきました。児童は、音を出せたことに感動していました。また一つ、児童の心に残る財産を培うことができたと考えています。【気づき・絆】

【　鑑賞教室プログラム　】

1　「喜洋洋」…中国の祝いの曲
2　「喜送公糧」…中国の農村の情景を表した曲
3　「万馬奔騰」…モンゴル曲（野生馬の群れ）
4　中国楽器「胡芦絲（ホールース）」を使って
　○　「ぞうさん」「里の秋」
5　演奏に合わせて歌おう
　○　「パプリカ」「安久小学校校歌」
6　二胡に触れよう（各学年代表児童６名）
7　「賽馬」…草原を疾走する２頭の馬の様子を表した曲
※　アンコール　…　「時の流れに身をまかせ」

中郷ブロック第4回小中一貫教育研修会を開催

1月15日（水）の午後に、標記の会を開催しました。中郷地区の3校（中郷中・梅北小・安久小）の教職員が一堂に会し、本年度の本地区の小中一貫教育の具体的な取組についてまとめ、次年度からの更なる充実・発展を図ることを目的として開催しました。

まず、コアティーチャーである本校の西慎吾教諭が、本年度の研究のまとめとして、本地区の児童生徒の全国学力調査結果分析と第3回研修会授業研究会のまとめを報告しました。

次に、各部会に分かれて、本年度の共通実践事項についての各学校おける具体的な取組を報告し合い、次年度の取組について協議しました。 継続して取り組む各部の主な共通実践事項は、次のとおりです。

各部会	主な共通実践事項
知　育	学習習慣の確立・読書（小；月4冊、中；月2冊） 小中連携強化（授業研究会・相互授業参観の実施）
徳　育	あいさつ運動・清掃指導・ボランティア活動
体　育	体力向上（バービー・馬跳び）・食育推進
ふるさと教育	地域人材・地域素材の活用

【知育部会】

【徳育部会】

【体育部会】

【ふるさと教育部会】

1月28日（火）には、梅北小学校において、授業参観を実施します。

次年度も三つの小中学校の教職員が協力しながら、心を一つにして、「中郷の子どもたち」を大切に育てていきます。【やる気・気づき・根気・絆】

避難訓練（火災）

1月17日（金）の3校時に、避難訓練（火災）を実施しました。今回は、都城南消防署と上野消防設備さんの協力を得て行いました。家庭科室からの出火を想定して行いましたが、「児童の無言での避難、落ち着いた行動は、日頃の指導のよさですね。」と、お褒めの言葉をいただきました。

この日はあいにくの雨で、体育館に避難しました。まず、計画を推進した上森隆平教諭の避難及び消火設備についての話の後、都城南消防署の花房さん（本校の卒業生で西豊満公民館長の花房徹さんの御子息）から、詳しい説明がありました。続いて、消火器の使い方についての実演がありました。消化剤は出ない物でしたが、「ホッピングー」（ホース・ピン・グー）を具体的に説明しながら見せてくださいました。

もしもの時に備えて、御家庭でも火災が起きた場合の対応について、話し合っておかれるとよいかと思います。【気づき】

今昔物語１

昨年末に、私たちの大先輩で本校にお勤めの経験もある豊満出身の岩佐近先生が御逝去されました。謹んで御冥福をお祈りいたします。実は、岩佐先生は、本校の第41代校長渡邊聖先生の義父にあたる方で、渡邊先生の奥様（知子先生）と私は昔の同僚で、今でも懇意にさせていただいている関係で、貴重な資料を頂きましたので、この学校便りで連載します。この安久には、岩佐先生の御親戚の方もいらっしゃるでしょうし、児童の祖父母や地域の方で御存知の方もいらっしゃることと思います。懐かしんでいただけると幸いです。【絆】

森山真延先生の思い出・出会い　　　岩佐　近

森山先生は、昭和11年から14年まで、安久小学校に勤務された。私たち小学校4年生の担任であり、若い教頭先生であった。授業はユーモアがあり、毎日が楽しかった記憶がある。特に、国語の授業が興味深く、印象に残っている。先生には、「筆だこ」があり、勉強を懸命に努力した証拠として教示された。5年生の時、NHKで放送されたことがある。偉い先生だったのだろうと子ども心に思い、安久小学校は国語と剣道に強い学校であると誇りをもっていた。早朝、豊満町の私の家の前の道路をハチマキを締めて走っておられた。凛々しい元気溌剌な姿が浮かんでくる。

国語の授業をたくさんの先生方が見に来られるというので、校舎の内外の清掃、特に廊下は糠雑巾で磨き、校舎の壁まで磨いた思い出がある。森山先生の著書の中によると、「安久小学校の昭和11年から12年は、郡の学校経営に関する研究指定校、昭和13年から14年は県指定国語教育研究という題目を掲げ、『子どもをみてほしい』がその時の全職員の合言葉であった。」と書かれている。「毎日毎時の歩みが、参加者が驚く公開となった。国語だけでなく、他教科の実績も上がり、学習面にとどまらず、訓練・清掃まで実に見事な公開ができた。当日は県内から600名、鹿児島から数十名の参観を受け、宮崎師範附属小学校の定例公開の時よりはるかに上回った。特に、鹿児島の或る校長先生から、『宮崎県にもこんなすばらしい学校があるとは意外だった。』という便りをもらった。」とも書かれている。また、次のように自分の教育実践を述べられている。「自分の体験から、子どもの皆の心を引きつける最もよい機会は、担任の先生と授業時間以外に、無心に遊び戯れることである。時に鬼ごっこをして逃げ隠れしたり、あるいは冗談を言って遊び回ったりして、笑いながら思う存分はしゃぐことをしたものである。遊びが児童の心をとらえると同時に、児童が教師の心をとらえる大きな絆になると思う。心と心が一体となるところに信頼感は増し、この先生のおっしゃることには絶対にという心境になるのではないか。いくら教室の授業がよくできたにしても、先生と離れている心があれば、その効果はあるだろうか。児童が喜んで先生の教えに従うことが何より先決である。」＝思う漢詩に綴るる－追思・提言・愚成＝

誠に味わいのある実践理論である。私たちは、このように指導されたことを嬉しく有り難いと思う。このような主席教頭先生を中心に、当時の高田校長先生を先頭に全職員の先生方の集まりが安久小学校の当時の先生方であった証拠である。特に、その中心であった森山先生から担任をされたということは、私たちにとってどれだけ各人の人生の糧となっているかわからない。無上の光栄というか幸運であった。我々担任された以外の全児童・安久小全体の喜びである。【次号に続く】

参観日ありがとうございました。

1月23日（木）に道徳の授業参観と第2回学校保健委員会を開催しました。御多用の中、御出席いただきありがとうございました。「議論する道徳」いかがだったでしょうか。学校保健委員会では、フィットピアの草水秋一氏を講師として招聘し、「体を動かして体力アップ」の実技講習をしていただきました。今後の健康増進に役立てていただきたいと思います。【気づき・根気】

おめでとう！

【敬称略】

◇　高城さくら杯
準優勝　安久少女バレー

◇　空き缶リサイクル；２０ポイント獲得者

２年	●●　●●	２年	●●　●●
５年	●●　●●	２年	●●●　●●●
４年	●●　●●	４年	●●　●
６年	●●　●●	１年	●●　●●
５年	●●　●	３年	●●　●●●
３年	●●　●●	１年	●●　●●
２年	●●　●●	５年	●●　●●

◇　少年少女空手道県大会　優勝　３年　●●　●●
全日本空手道少年少女選手権大会　出場
（Ｒ２．１．２６　グリーンアリーナ神戸）